



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 9

2018.9.5(No.2973)

自らのロータリーストーリー
を作りましょう

第2560地区ガバナー／川瀬 康裕
会 長／松 永 一 義
会長エレクト／若槻八十彦 (クラブ奉仕A)
会長ノミニ／野崎喜一郎 (クラブ奉仕B)
幹 事 西 山 徳 芳
S A A／渡 辺 良 一
会 計／吉 井 直 樹
直 前 会 長／小 出 子 恵 出

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場／三條市旭町2-5-10
三條信用金庫本店内
TEL 34-3311

事務局／三條市元町2-16
越前屋ホテル 3F
TEL 47-0505 FAX 46-8873

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

- 本日の出席会員数:60名中39名
- 先々週出席率:80.70%

【先週のメイクアップ】

[8.29] 糸魚川中央RCへ

・関川 博さん

[8.30] 糸魚川RCへ

・関川 博さん

[8.30] 燕RCへ

・山田富義さん、 加藤紋次郎さん、

・相場弘介さん、 木村文夫さん、

・中村和彦さん

[9.1] 第1回米山奨学委員長セミナー
(新潟)へ

・松永一義さん、 若槻八十彦さん

[9.3] 地区大会記念親睦ゴルフ大会視察へ

・斎藤弘文さん、 中村信一さん、

・杉山幸英さん、 丸山行彦さん、

・小出子恵出さん、 柳取崇之さん

[9.4] 三條北RCへ

・米山智哉さん



インスピレーションになるう

2018～2019年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

松永一義 会長



自然災害が続いています。大雨、台風、昨日の58.1mの強風にはびっくりさせられました。車がコロコロ風で飛ばされるニュースは、初めての経験でした。

今日の例会から、きものは単衣というものになります。先月まではスケて見える夏のきもの、9月からはスケない、裏地の

無いきものになります。

今日は、紫色について話します。紫色のイメージって何でしょう。人それぞれ思いがあると思います。日本の色の中でも位の高い色と位置づけされています。

昔の時代劇の中では、病弱な若殿が白いフトンの中で、なまっちょろい顔できれいな紫色のハチマキをしているシーンが私は浮かびます。これが本当かどうかは分かりません。

染色でいうと、日本では紫根染という染が、東北地方を中心に群生していた紫草の根から取られました。

根をつぶして煮出して、その液に10回くらい染めると藤色に、20回くらい染めると独特の赤紫になります。この色も昔は非常に高価な染物で、先週お話しした黄櫨染と同じ、禁色とされていました。

紫の染で世界的に一番という、貝染と呼ばれる染色があります。巻貝の頭の部分にあるパープル線という乳白色の汁を糸に塗り、太陽の光にあてると紫色に変色します。

日本でも細々と染められました。現場を見学しましたが、

くさいの何の、貝が腐った臭い、鼻が曲がる程です。大変な作業の染物です。

西洋でも染められて、マント1枚染めるのに15000個以上の貝が必要とされていました。1gの染料を取るのに2000個以上の貝がつぶされていました。

紀元前からあったとされています。シーザーやクレオパトラの時代からあり、有名なのが、クレオパトラが男性の気を引くために、帆を全部この貝紫で染めて船出をしたと言われていました。

世界でも帝王だけが身に付けられた染物です。もちろん庶民は禁止です。

最近、女性の気を引くのも大変です。何か良い方法があったら内緒で教えてください。

終わります。

幹事報告

西山徳芳 幹事

◎川瀬ガバナー事務所より

「ガバナー月信9月号発行のお知らせ」

◎三条ローターアクトクラブより

「9月第二例会のご案内」

日 時 9月27日(木) 19:30~21:00

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

卓 話 三条北RC会長 高橋研一様

◎地区ローターアクト委員会より

「群馬・新潟合同行事 本登録のご案内」

日 程 10月13日(土)~14日(日)

会 場 高志の宿 高島屋

◎三条市市民部環境課より

「三条スポーツごみ拾い in

燕三条工場の祭典のご案内」

日 時 10月6日(土) 8:30~11:00

小雨決行

集 合 三条市役所市民広場

締 切 9月26日(水)

ニコニコBOX

松永一義会長

風の被害も三条はなくホッとします。他地区の風の強さ、驚きました。

飯塚さん、卓話楽しみにしています。

関川 博さん

公式訪問20クラブ終了しました。どのクラブでも温かく迎えていただいています。

飯塚会員、卓話楽しみです。

飯塚一樹さん

卓話緊張していますが、よろしくお願い致します。

西山徳芳さん

台風一過、青空のもと、フレッシュな卓話楽しみにしています。

渡辺良一さん

先週、義母が逝きました。3人の子供を育ててもらいました。90年の立派な人生でした。

飯塚さん、卓話よろしくお願い致します。

吉井直樹さん

三条は大風の影響が少なく良かったですが、関西方面からの荷物が届きません。早く直ってほしいです。本日飯塚様、宜しくお願い致します。

衛藤泰男さん

台風も通り過ぎて猛暑もやっと落ち着きそうです。大阪の取引先様も無事だった事がわかりほっとしています。

梨本次郎さん

台風一過で一安心です。

飯塚さんの卓話「燕三条のまちづくり」について楽しみにしています。

落合孝夫さん

飯塚会員、卓話頑張ってください。

山田富義さん

飯塚会員の卓話楽しみにしておりましたが残念ながら早退をさせていただきます。

樺山 仁さん

21号台風も無事で終わりそうです。

本日の飯塚会員の卓話に期待して。

伊藤寛一さん

無事台風一過。飯塚会員宜しく。

野崎喜一郎さん

今年の猛暑に負けないで夏を過ごすことが出来ました。飯塚君の卓話楽しみです。

中林順一さん

台風一過、新潟県は無事で良かったです。大阪はひどいですね。早く復旧すると良いですね。

飯塚会員の卓話、楽しみにしています。

中村信一さん、柳取崇之さん、五十嵐博宣さん、

高橋 司さん、石橋育於さん、渋谷健一さん、

小越憲泰さん、杉山幸英さん、小林吾郎さん、

若槻八十彦さん、中沢真幸さん、五十嵐晋三さん、

小出子恵出さん、小林卓哉さん、明田川賢一さん、

金子俊郎さん、熊倉昌平さん、船越良則さん

飯塚一樹会員、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

9月5日分 ¥ 38,000

今年度累計 ¥ 414,000

「卓話」

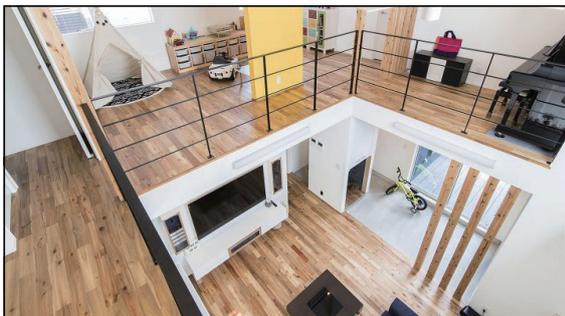
飯塚一樹 会員



- ・自己紹介と設計実例紹介
- ・建築家集団ベポーナプロジェクト
～持続可能な社会を目指して～
の紹介
- ・実例環境先進都市ドイツフライブルク州ヴォーバンの紹介

・実例を踏まえた持続可能な燕三条地域の
まちづくりの提案

・自己紹介と設計実例紹介



○PROFILE

西暦 1977年4月29日生まれ 41歳
奥さん1人、子供3人の5人家族
出身地 新潟県三条市居島
資格 一級建築士

1996年 新潟県立三条高等学校卒業
2000年 工学院大学建築学科建築学コース卒業
新潟県内設計事務所勤務
2007年 イヅカカズキ建築事務所設立
2013年 全国住宅ネットワークR+HOUSEに参加
2018年 三条市神明町に事務所を移転



○VISION

一人でも多くの人を幸せにし、幸福度の高いまちづくり

○MISSION

住環境の向上と新しい価値を創造する

○VALUES

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1.時間をデザインする | Time design |
| 2.ロケーションとの融和 | Location harmony |
| 3.美しいデザインの追求 | Beautiful design |
| 4.大胆な発想 | Bold ideas |
| 5.お客様の代理人 | Customer oriented |



○今後の展望

お客様からの依頼を待つだけでなく、設計事務所という立場から、燕三条地域を俯瞰的に見ながらまちづくりを考え、周辺環境との融和や物理的要因への配慮、街への影響やその土地の持つポテンシャルを超えたプランを提案し、人の心を打つような美しい建築、美しい街並み、美しい時間を創造できる設計事務所になっていけたらと考えています。

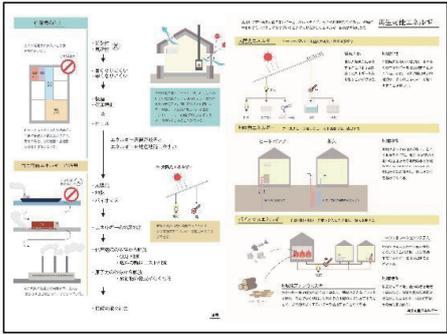
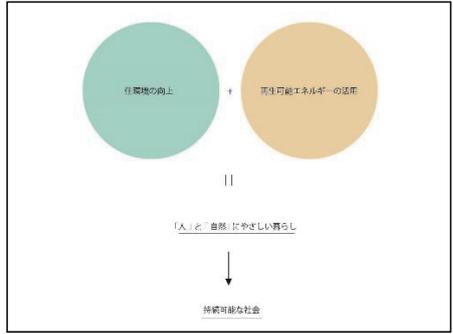


・建築家集団ベポープロジェクト ～持続可能な社会を目指して～ の紹介

BEWOHNER

持続可能な社会に向けて

○問題提起
地球温暖化、化石燃料の枯渇、高齢化、人口減少、地域格差など現在ではさまざまな問題が複雑に絡み合い、未来への不安は尽きない。
自分の子ども、さらにはその子どもの子ども、これからの世代に何を残すことができるのか。
また、なにを解決し、なにを残さずにいられるのか。
建築家の職能を生かして
持続可能な社会の実現に貢献したい。



○地方都市型

○地方都市型

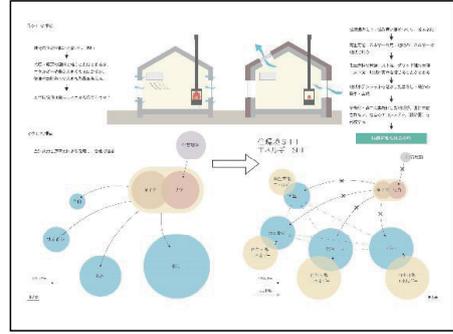
○住まいを創る
本質的な価値を創ることで土地を最大限活用できる。コミュニティの中心には居住可能エネルギーのプラントを設置し、そこから地域にエネルギーを供給する。また、プラントにはコミュニティスペースを設置し、交流の場とする。集まって暮らすことの価値は、必ず少ないこと。集りがたがった住宅は想像が湧き、夢のカタチがある。実際に暮らすことがしたいという気持ち、独自のコミュニティを形成し、新しい環境をつくり出す。

○まちづくりを創る
お隣さん家族の暮らしとつながる種の社会として豊饒な種である。目の届く範囲の安心できるコミュニティの形成は子育て世代に強い味方となってくれる。

○郊外型

○都心型

都心では、既存のインフラを最大限活用することで、コミュニティを活性化させる。空家は法的に、構造規制、容積規制、そこに居住可能なエネルギーを供給できるようにする。また、空家は既存のインフラを最大限活用することで、コミュニティを活性化させる。空家は法的に、構造規制、容積規制、そこに居住可能なエネルギーを供給できるようにする。また、空家は既存のインフラを最大限活用することで、コミュニティを活性化させる。



・実例環境先進都市ドイツフライブルク州ヴォーバンの紹介

海外の事例

ドイツ・フライブルグ市

位置：ドイツ西南部
人口：約23万人
面積：1,497 km²
28地区、そのうちの一つがヴォーバン
環境先進都市

参考
歴史地域
人口：約23万人(2010年)
面積：333km²
4地区：三泉、南、弥彦、加茂



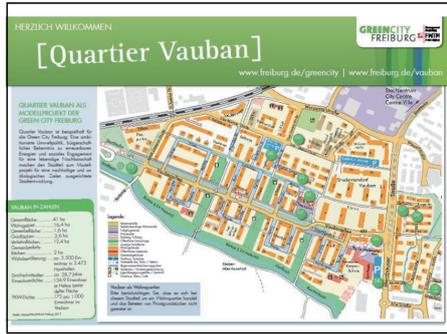
ヴォーバン

ソーシャルエコロジー住宅地

位置：ドイツ西南部
人口：2000世帯、5,500人
面積：38ha
(1ha当たり140人の人口密度)

※ソーシャルエコロジーとは
人間性における不平等と環境破壊の
関連性に注目し、環境保全型社会へ向
けての社会改革を重視する。

ドイツ・フライブルグ市において 1997 年からおよそ 10 年の歳月をかけてエコロジカルな新興住宅地「ヴォーバン」が 2006 年にほぼ完成。
戦後から 1992 年までフランス軍が駐在していた（ヴォーバン兵営地）。冷戦の終わりとともにフランス軍が撤退していったことから、この場所が住宅地として開発されることとなる。
総面積 41 ヘクタールの大きさ、合計約 2,000 世帯、5,500 人、住宅地内での雇用が 600 人発生という社大プロジェクト「ヴォーバン住宅地」には、住人意見とフライブルグ市の先進性によって様々なコンセプトが実現している。



○土地分譲の際の規定

個人が個人の集まり（コーポラティブ方式）を優先すること多様性のある街をつくり出す。
コーポラティブが大量に発生したことで、入居前から遊歩道が敷かれ、住居間の交流が活発になる。

○分譲の際の規定

小規模小売店、飲食店、診療所、事務所など
職住と家賃の距離を近づける。
雇用確保
住とりのある暮らし（通勤のない暮らし）
無駄な交通を省く（車庫しの買ひ物）



○交通に関する規定

交通静化区画（この字型に配置した遊歩道の道路）を設け、道が交流の場とする。
カーポートフリー。




○雨水、下水道排水に関する規定

雨水と生活排水を分離し、雨水は浸透させることで集中豪雨、洪水を防ぐ。



○屋上緑化、壁面緑化に関する規定

ヒートアイランド緩和
室内の気温上昇緩和
ビオトープの発生
壁面緑化は景観に対する効果
雨水対策もある。



○家屋のエネルギー建築様式に関する規定

1年総1m²あたりの一次エネルギー使用量
65kWh/m²・年「低エネルギーハウス」
を上限とする。
その他
40kWh/m²・年以下の低エネルギー
25kWh/m²・年以下の「ササカネ」
エネルギー収支がプラスになる
ソーラープラスエネルギーハウス
(売電住宅)

参考
ドイツの平均的な住宅250kWh/m²年
日本はドイツの70%標準の6-10倍




○地域エネルギーに関する規定

緩歩・温水は一括した地域暖房による。
地域別の水質バイオマス。
施設と、のこりエネルギーを
個々にストープやボイラーを焚くのではなく
一方所で大量に、効率的に温水とを供給

- ①省エネ建築の義務
- ②エネルギーの効用最大化
- ③自然エネルギーの活用



○街路樹に関する規定

住宅地内に5-7本の緑の帯と呼ばれる公園を設置。
山から吹く降るす面を利用し、街を涼やし、新鮮な空気を取り入れる。



・ 実例を踏まえた持続可能な燕三条地域のまちづくりの提案



日本の地方都市 共通の問題点

- ・ 街の空洞化（郊外型店舗の進出、職住分離のロールモデル）
- ・ 若者の流出（若年層年間1000人規模が流出）
- ・ 空き家問題（建物利用の停滞、住民の断絶代償）
- ・ シッター街化（商店存続の危機、街の老化）
- ・ 平準化による伝統文化の衰退（帰属意識の低下）・・・etc

上記は複雑に絡み合い、危機すら感じる。
三条も共通性を否定できないのでは・・・



三条は？

- 三条市総合計画より
- ・ 若者の転出抑制と地元企業、産業の持続的発展が課題
- ・ 若者の転出、後継者不足
- ・ 若手経営者の台頭
- ・ ものづくりのまちのハードウェア
- ・ 企業価値の底上げ
- ・ 伝統技術の継承、発展
- ・ 若年層を中心とした人口流失が顕著
- ・ 地元企業・産業の持続的発展のために人材の確保と育成
- ・ 人材のミスマッチ



日本の食料生産の 一翼を担う

○新潟・燕三条は信濃川とそこから分派する中ノ口川の中州付近に位置する地域です。その地理的優位から土壌に恵まれており、米の栽培はもちろん、葡萄、梨、桃といった果樹やキャベツ、白菜、なす、ねぎ、トマトなど野菜の栽培も盛んであり、新潟県内でも有数の多品目産地として知られています。

○燕三条地域は日本の大河、信濃川によってもたらされた旧三角州です。さらに漢流の五十嵐川や加賀川が流れ込み、ミネラル豊富な土壌を作り上げました。自然が1万年前から作り上げてきた、産物が良く育つ肥沃な土壌



インフラの利便性

ハブとなる新幹線、高速道路

自然環境を生かした暮らし

- ・信濃川、五十嵐川、ミズベリング
- ・弥彦山、大崎山、八木鼻
- ・アウトドアライフ



■三条市としての対策

若年層の転出抑制

- ・高等教育機関（実学系ものづくり大学、高度医療看護学校の開設）設置
- ・実学系ものづくり大学でのインターンシップ→産業界と大学が戦略的連携関係
- ・地域全体を魅力ある学びの場とする。→慣れ親しんだ地元企業への就職促進

若年層の転入促進

- ・就業機会の創出

就業機会の創出（学ぶ若者や働く若者が集うまち）

- ・新事業の創出・・・地域資源や既存の優れた社会インフラなどを活かした新たなビジネス機会を創出するとともに、生業としての確立を支援していく
- ・IT系企業サテライトオフィスの誘致
- ・バイオマスエネルギー事業の推進
- ・潜在型職業訓練施設の整備
- ・移住に向けたシティセールスの推進

三条で実施される計画

- ・基幹病院新設（それに伴う医療系学校新設）
- ・ものづくり大学新設（数千人規模の流入）
- ・総合体育館複合施設の建設（街の拠点的役割）

・・・種にみる新しい街づくりのチャンス

人が集まるチャンスがある。

持続可能なまちを実現するため

○人が住み続ける

○商売をし続ける

仕事と住むところはセット

自分で作って、売っているのが燕三条

商品開発、人材、職、商売をし続けることはできる土壌はある。

しかし、住む場所への考えがあまりないのは。。。

○ふるいまち旧三条市街

人口流失阻止

↓

仕事と住むところはセット

○新しいまち燕三条

再生のまち、治るまち、学ぶまち、商品開発のまち → 人が集まる

○ふるいまち旧三条市街

コミュニティ、カフェ、本、飲みに行く、チャレンジのできる町、イベント、図書館、五十嵐川などの自然などいろいろ魅力はある、住みやすい。

ただ、若者がいない

↓

学生を呼び込む：楽しいまち、魅力のあるまち、人が集まる燕三条から

↓

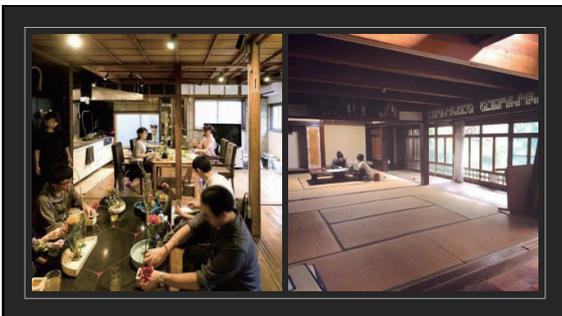
○燕三条からの移動方法

サイクリング、専用の橋、バス、電車（弥彦線の増便）



○新しいまち燕三条 再生のまち、治るまち 学ぶまち、開発のまち

大学、病院を中心として人が集まる
ヴォーバンのようなエコロジカルな幸福度の高い最先端のまちを「から」作る事ができる。
→快適に住む、住みたくなる街→EGの持続可能



持続可能な燕三条をめざして

仕事と住むところはセット

新しいまち：燕三条

自分で作って、売っているのが燕三条→商品開発、人材
まちに快適に住む。→定住するには楽しいまち、自然（川、山など）があるのに感じていない。住みたくなる街→エネルギーの持続可能



○自然の魅力を生かす

○中心市街地、商店街へ

- ・学生たちは楽しいまちに魅力を感じる。
- ・若者を商店街によびよせる。人が住むと商店も活性化。住む人も商店もWINWIN。
- ・燕三条に定住してもらう。
- ・なんで学生たちが楽しいまちに住みたいのか？

○商店街。新しいまちを築くサイクリングロード（五十嵐川～旧蔵 場～信 川～燕三条）

燕三条にはチャレンジする土壌がある

次週例会 9月19日 「会員卓話」 五十嵐晋三 会員

次々週例会 9月26日 「地区大会進捗報告」

